

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 23日

尼崎市長 殿

提出者

住所 尼崎市大浜町2丁目26番地

氏名 株式会社クボタ 阪神工場  
工場長 石原 孝浩

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6415-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称 株式会社クボタ 阪神工場

事業場の所在地 尼崎市大浜町2丁目26番地

計画期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類 2293 鋳鉄管製造業

②事業の規模 製造品出荷額 1,613,119万円(令和3年度実績)

③従業員数 467人(令和4年4月1日時点)

④産業廃棄物の一連の処理の工程 別紙の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) 別紙の通り	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】
	産業廃棄物の種類
	排出量
	別紙の通り t
(これまでに実施した取組) 産廃の排出量の少ない機種を生産比率を上げることにより発生量を削減する。有価物の引取り量を増やし、産業廃棄物発生量を削減する。	
②計画	【目標】
	産業廃棄物の種類
	排出量
	別紙の通り t
(今後実施する予定の取組) 上記取組を継続する。	

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物を分別することにより、有償化を目指す。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取組を継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙の通り t
	(これまでに実施した取組) 場内鉄源を回収し原料として使用している。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙の通り t
	(今後実施する予定の取組) 上記取組を継続する。	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙の通り t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t t
(これまでに実施した取組) 排水処理施設の脱水機の適正運転。		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙の通り t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t t
(今後実施する予定の取組) 上記取組を継続する。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙の通り t
	(これまでに実施した取組) 実施しない。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙の通り t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	別紙の通り t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) 可能な限りリサイクル業者への排出を行い、ゼロエミッションを推進してきた。	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙の通り	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) 有価物化を図ると共に、全て処理を再生利用業者へ委託したい。 また、優良認定処理業者を調査し、出来る限り委託を行っていく。			

(第6面)

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

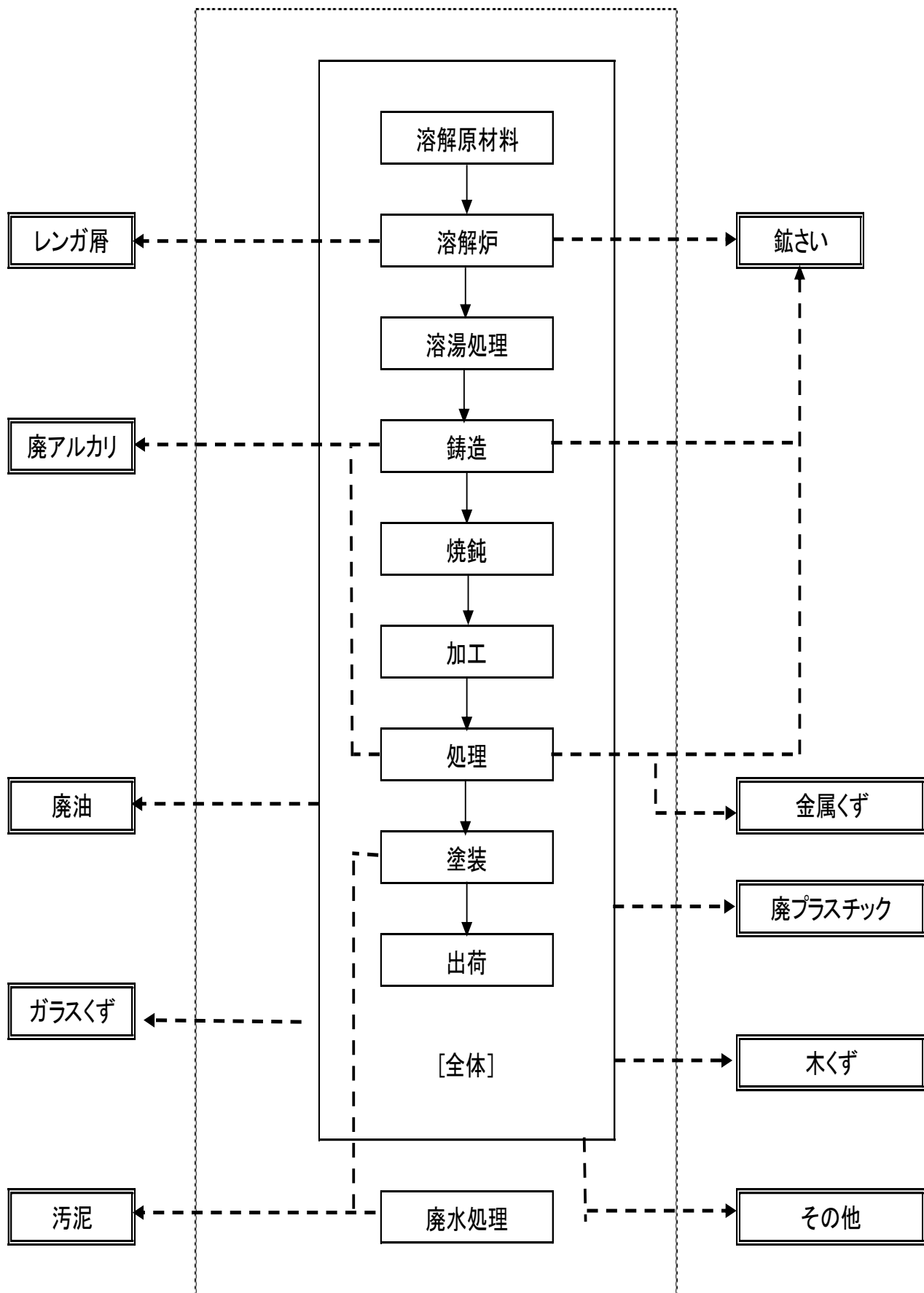
4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。

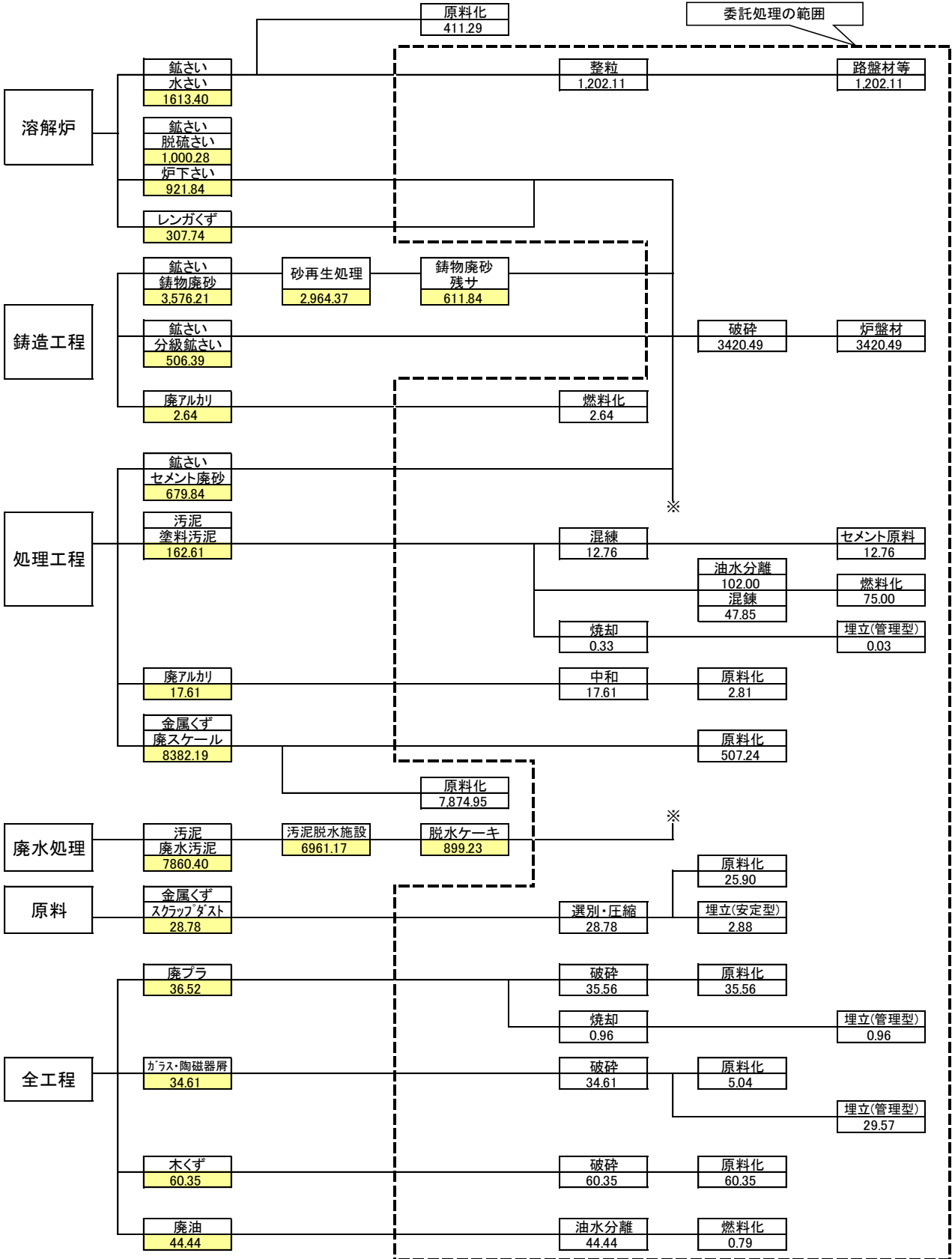
当該事業場において現に行っている事業に関する事項  
○産業廃棄物の一連の処理の工程



# 廃棄物処理フローシート

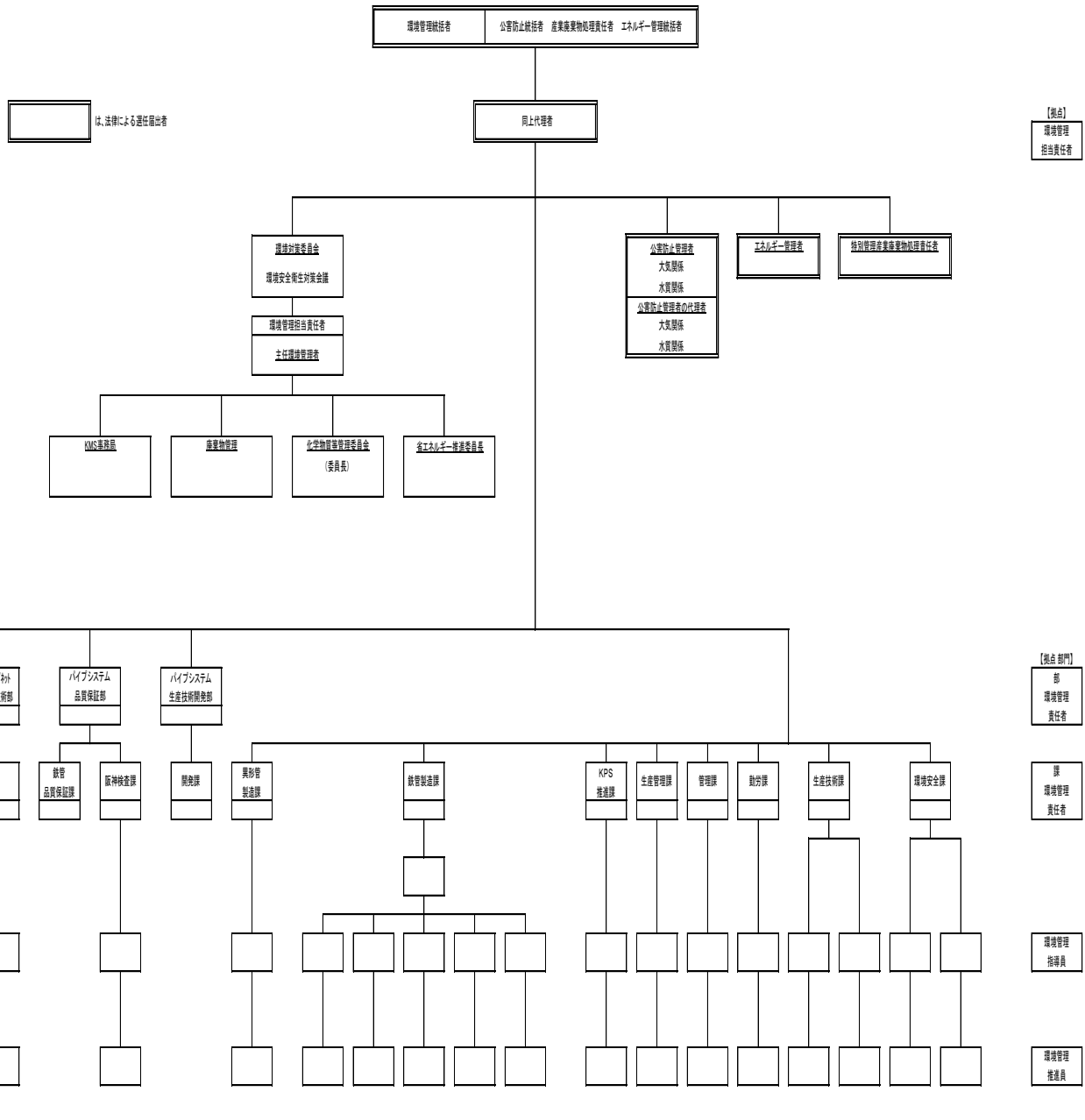
発生源      廃棄物      処理・処分

単位:T/年間





株式会社 クボタ 阪神工場(武庫川)  
環境管理組織図



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

分担

環境管理担当課長

- 工場内の廃棄物処理計画等の策定、部門間の調整、行政への報告
- 処理委託業者の選定、廃棄物処理委託契約等手続き、適正処理の確認
- 事業所内の他部門への関係法令等の教育、啓発、指導監督

課環境管理責任者

- 部門内から発生する産業廃棄物の発生削減、分別、場内保管場所への運搬
- 部門内 従業員への分別方法等の徹底



